

発達障害の子どもたちの

早期からの継続的な支援のあり方を考える

未来を創る

今年度、発達障害のある子どもの社会的自立に向けて、幼児期から就労に至るまで「切れ目ない一貫した支援」を行うためには、どのような地域連携システムが必要なのかという講演会を開催いたしました。その後、皆様からのご意見の中で、発達支援におけるシステム構築が必要であるとのこと意見が多数ありました。

今回は「発達障害の子どもたちの未来を創る」として、滋賀県において「発達支援システム」の立ち上げに関わられた藤井茂樹先生をお招きし、不登校や、ひきこもり、ニートの問題を踏まえながら、発達障害への具体的な対応や地域における体制づくり等についてお聞きしたいと思います。そして、私たちの圏域におきましても、それぞれの機関が果たすべき役割を整理しながら「発達支援システム」の構築に向けて取り組んでいきたいと思っております。

2018年

2月10日(土)

受付 12:45

講演 13:15~15:30

日高町保健福祉総合センター

日高郡日高町小中 1308



講演

「不登校・ひきこもり・ニートの問題を考える」

～発達障害への対応からの検討～

対象者 教育・医療・保健・福祉・保育 関係者

定員 100名

受付終了日 1月31日(水)

参加
無料
要申込み

講師

ふじい しげき
藤井 茂樹 先生

びわこ学院大学 教育福祉学部 スポーツ教育学科 学科長・教授
特別支援教育士スーパーバイザー

(プロフィール)

滋賀県公立小学校 ことばの教室担当

湖南市発達支援室 室長

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 教育相談部総括研究員

滋賀医科大学 小児科学講座 客員准教授



裏面
申込書

主催 御坊・日高圏域自立支援協議会

共催 厚生事務研究会 (御坊市・美浜町・日高町・由良町・印南町・日高川町)・御坊保健所

後援 日高地方特別支援教育研究会